

**みなかみ町観光協会様**

**『町内イベントにおけるアンケート調査  
並びに経済波及効果推計結果』**

**報 告 書**

**平成30年6月**

# 目次

---

I . 調査の概要	2
II . 奈良俣・藤原ダム点検放流	4
III . 矢木沢ダム点検放流	25
IV . II～IIIのイベントの主な指標一覧	46

# I . 調査の概要

# I. 調査の概要

**調査目的：**みなかみ町で開催される各種イベントの来訪者の満足度などを把握するとともに、開催による経済効果を算定し、イベントの開催効果を検証することを目的とする

**調査対象：**みなかみ町で開催されたイベントの来訪者。対象イベントと、それぞれの回答者数は以下のとおり

- ①奈良俣・藤原ダム点検放流（193人）
- ②矢木沢ダム点検放流（181人）

**調査方法：**記入式（無記名式）

**調査時期：**2017年5月

**調査内容：**調査内容は以下の通りである

- ①みなかみ町への来訪経験
- ②本イベントの情報源
- ③本イベントへの同行者
- ④日帰り・宿泊の状況
- ⑤本イベント来訪に要した費用
- ⑥本イベントに対する評価と再来訪意向
- ⑦回答者の属性（性別、年代、現住所、職業）

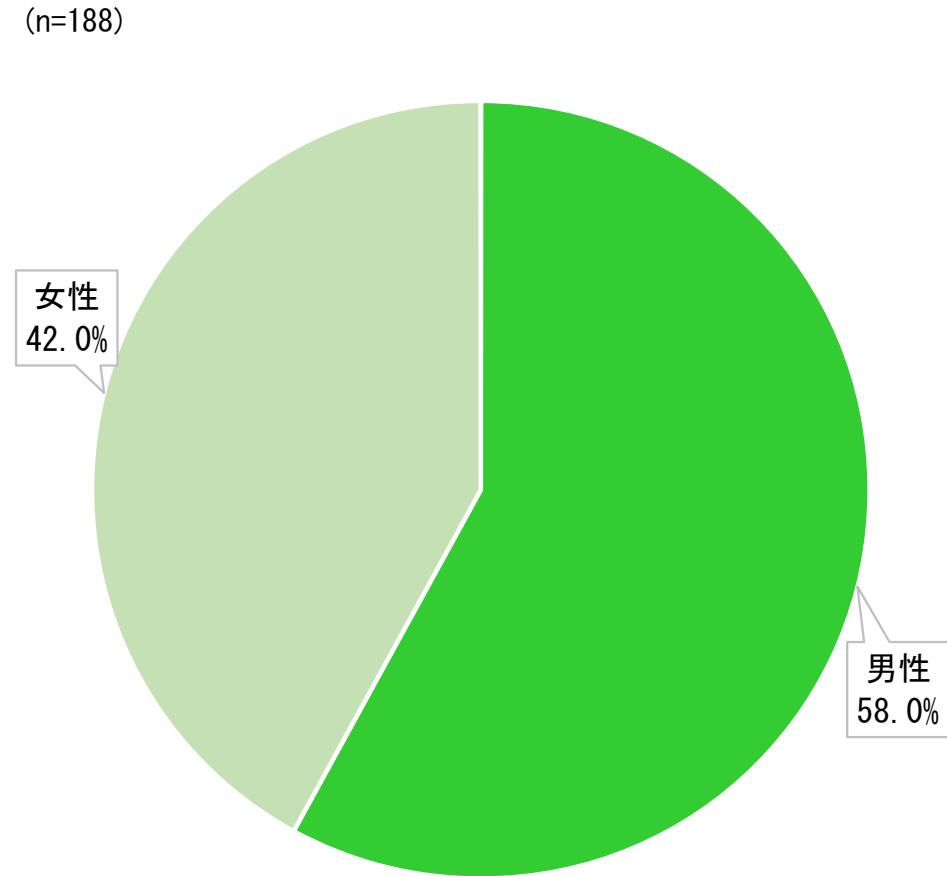
**注 意 点：**本報告書の図表の数字は四捨五入をしているため、回答割合の合計が100.0%とならない場合や、内訳と合計が合わない場合がある

## Ⅱ. 奈良俣・藤原ダム点検放流

# 1. 回答者の属性

## (1) 性別

回答者を性別で見ると、「男性」(58.0%)が約6割、「女性」(42.0%)が約4割となっている。



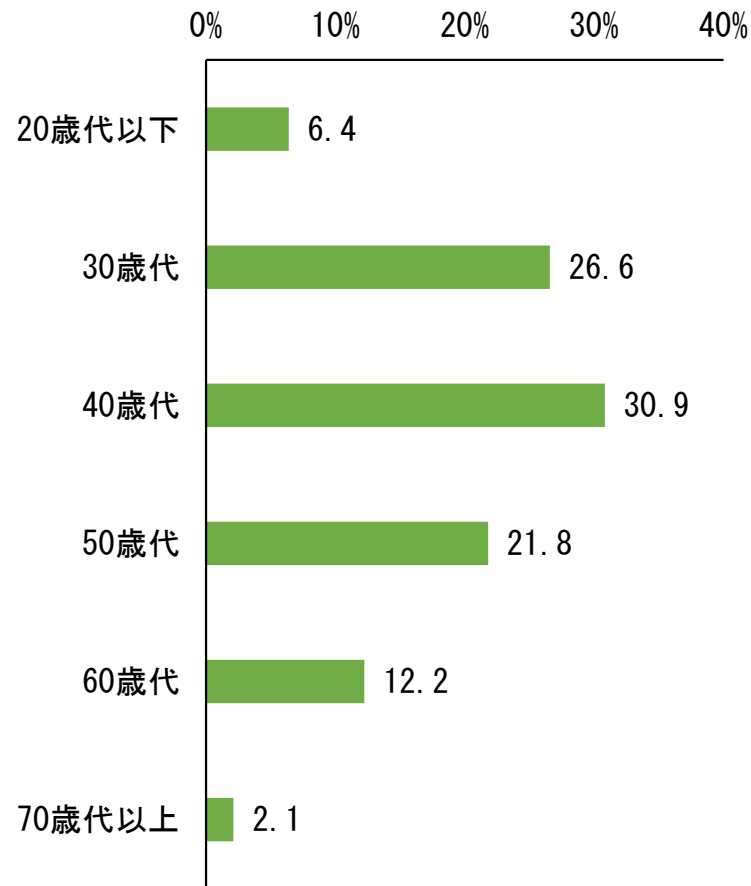
※無回答がある場合、無回答を除く

# 1. 回答者の属性

## (2) 年代別

回答者を年代別で見ると、「40歳代」(30.9%)の割合が約3割で最も高く、以下「30歳代」(26.6%)、「50歳代」(21.8%)、「60歳代」(12.2%)、「20歳代以下」(6.4%)などとなっている。

(n=188)



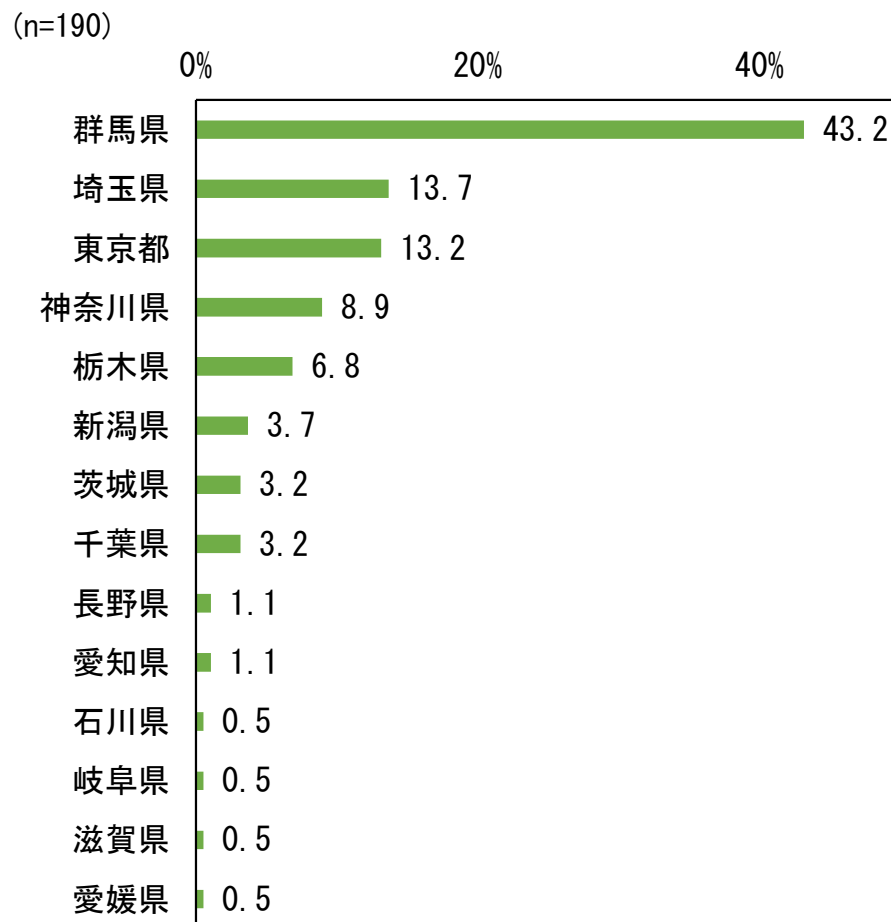
※無回答がある場合、無回答を除く

# 1. 回答者の属性

## (3) 現住所

回答者を現住所別にみると、「群馬県」(43.2%)の割合が4割強で最も高く、以下「埼玉県」(13.7%)、「東京都」(13.2%)、「神奈川県」(8.9%)、「栃木県」(6.8%)などとなっている。

また、市町村別の状況は次頁のとおりとなっている。



※無回答がある場合、無回答を除く



# 1. 回答者の属性

都道府県	市町村	度数
茨城県	水戸市	2
	つくば市	1
	筑西市	2
	古河市	1
栃木県	那須町	1
	栃木市	2
	佐野市	2
	鹿沼市	1
	小山市	1
	宇都宮市	3
	足利市	2
	無回答	1
群馬県	吉岡町	1
	みなかみ町	1
	みどり市	2
	前橋市	27
	東吾妻町	1
	沼田市	4
	玉村町	2
	高崎市	18
	渋川市	6
	北群馬郡	1
	太田市	2
	邑楽郡	1
	伊勢崎市	11
	無回答	5

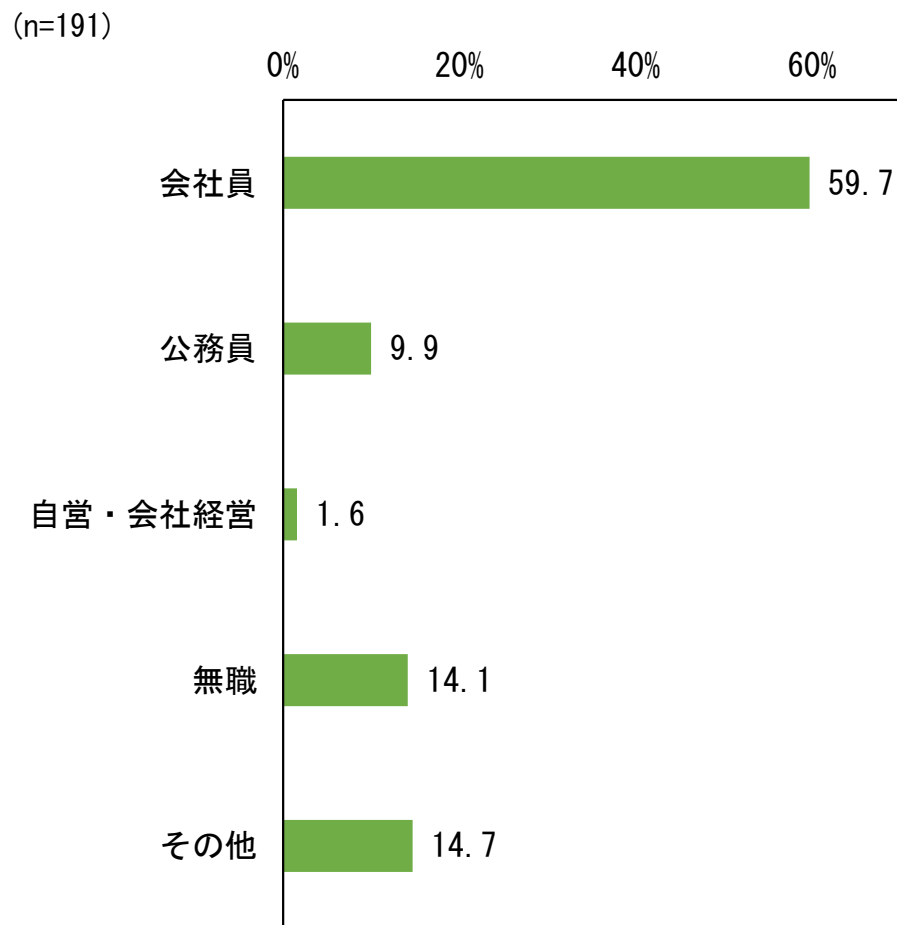
都道府県	市町村	度数
埼玉県	本庄市	3
	深谷市	1
	鶴ヶ島市	1
	秩父市	2
	狭山市	2
	さいたま市	6
	久喜市	1
	川島町	2
	川越市	1
	川口市	2
	春日部市	2
	上尾市	1
	無回答	2
千葉県	八千代市	1
	流山市	1
	千葉市	1
	大網白里市	2
	市川市	1
東京都	目黒区	1
	中野区	1
	中央区	1
	墨田区	1
	杉並区	2
	大田区	1
	江戸川区	3
	板橋区	1

都道府県	市町村	度数
東京都	足立区	2
	東村山市	1
	八王子市	2
	西東京市	1
	多摩市	1
	立川市	3
	小平市	1
	青梅市	1
神奈川県	無回答	2
	横浜市	5
	横須賀市	1
	平塚市	2
	相模原市	4
	川崎市	3
	鎌倉市	1
	無回答	1
新潟県	新潟市	6
	柏崎市	1
石川県	金沢市	1
長野県	軽井沢町	2
岐阜県	多治見市	1
愛知県	蒲都市	1
	春日井市	1
滋賀県	無回答	1
愛媛県	無回答	1
無回答	無回答	3

# 1. 回答者の属性

## (4) 職業

回答者を職業別にみると、「会社員」(59.7%)の割合が約6割で特に高く、以下「その他」(14.7%)、「無職」(14.1%)、「公務員」(9.9%)、「自営・会社経営」(1.6%)などとなっている。

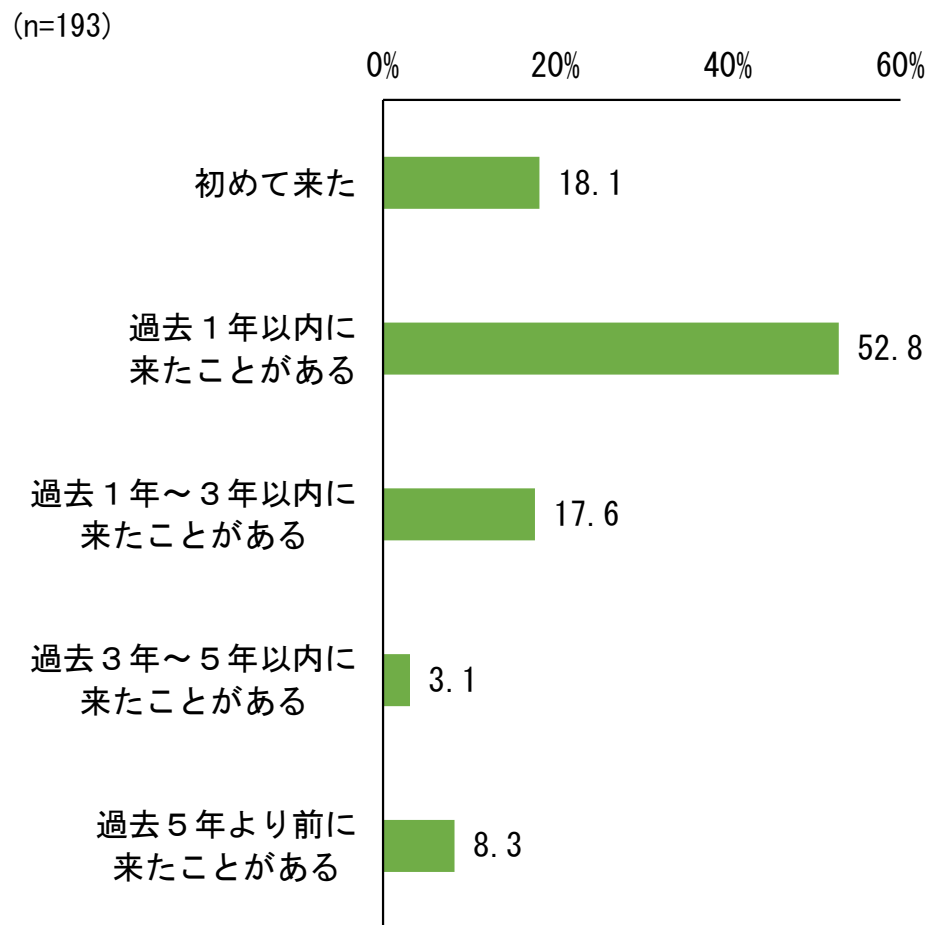


※無回答がある場合、無回答を除く

## 2. みなかみ町への来訪経験

これまでの“みなかみ町”への来訪経験を尋ねたところ、「初めて来た」（18.1%）とする割合が約2割となっている。

一方、「過去1年以内に来たことがある」（52.8%）の割合は約5割となっており、以下「過去1年～3年以内に来たことがある」（17.6%）、「過去5年より前に来たことがある」（8.3%）、「過去3年～5年以内に来たことがある」（3.1%）と続いている。



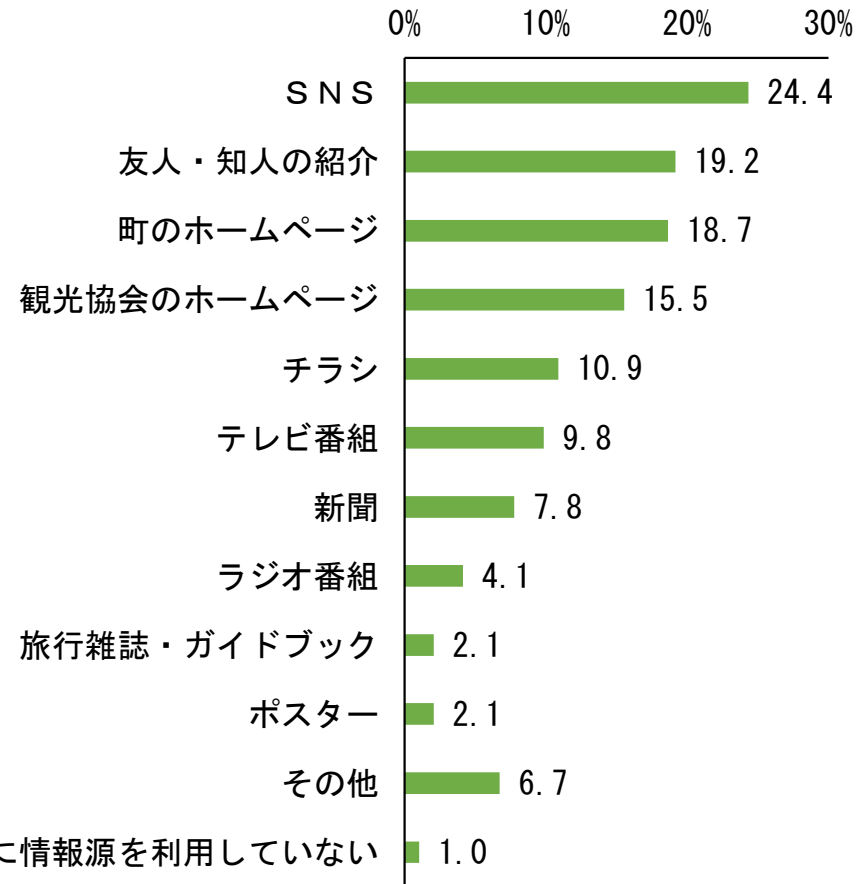
※無回答がある場合、無回答を除く

### 3. 本イベントの情報源

本イベントの開催を知るきっかけとなった情報源を尋ねたところ（複数回答）、「SNS」（24.4%）とする割合が2割台半ばで最も高くなっている。

以下「友人・知人の紹介」（19.2%）、「町のホームページ」（18.7%）、「観光協会のホームページ」（15.5%）などとなっている。

(n=193)

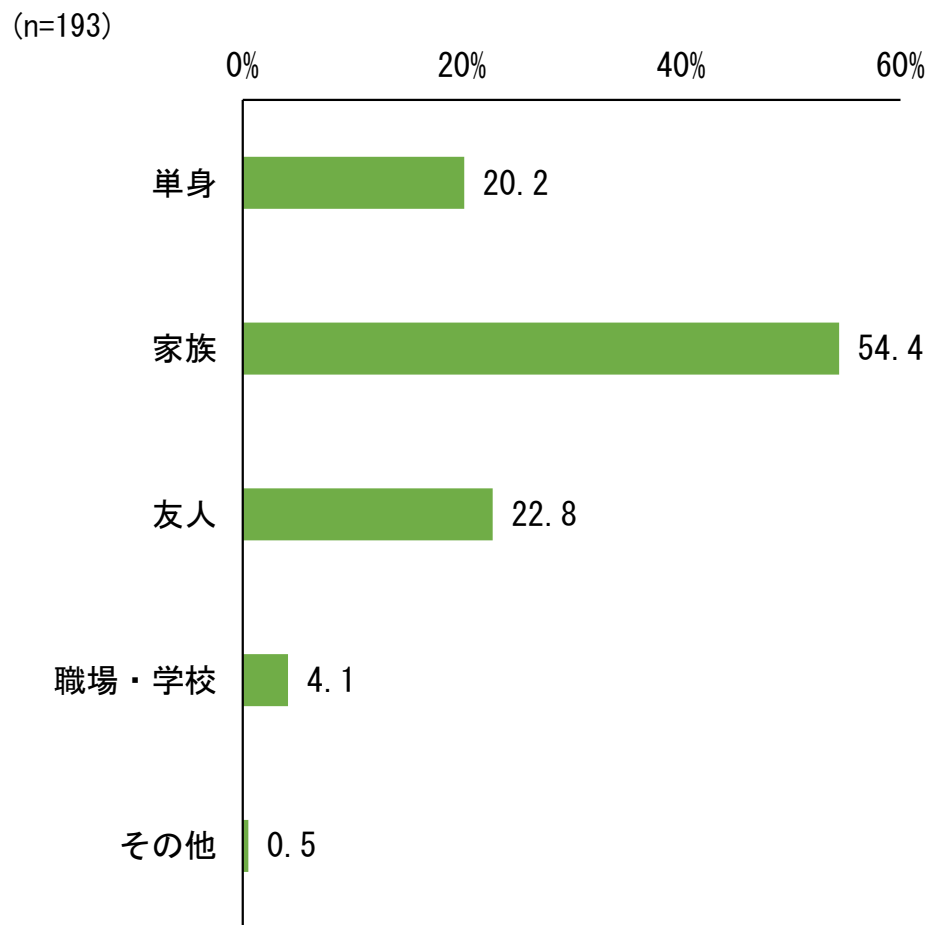


※無回答がある場合、無回答を除く

## 4. 本イベントへの同行者

### (1) 同行者の属性

本イベントへの同行者の属性を尋ねたところ（複数回答）、「家族」（54.4%）の割合が5割台半ばで特に高く、以下「友人」（22.8%）、「单身」（20.2%）、「職場・学校」（4.1%）などとなっている。

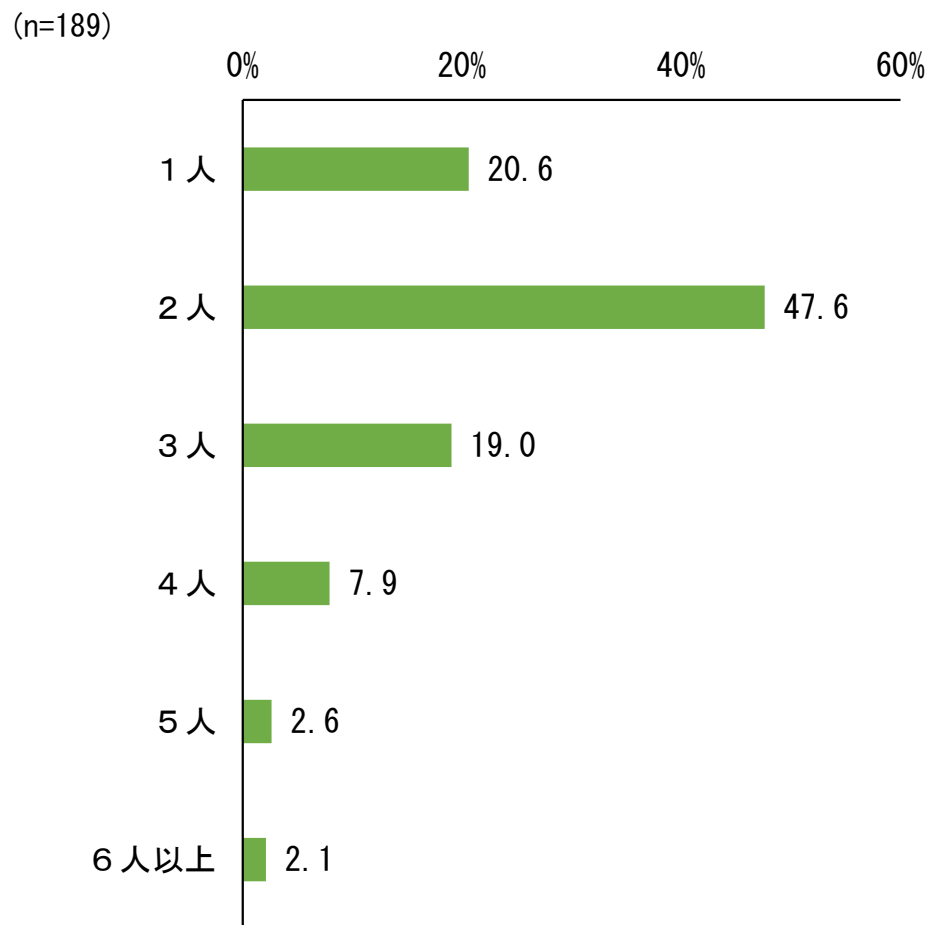


※無回答がある場合、無回答を除く

## 4. 本イベントへの同行者

### (2) 同行者の人数

本イベントへの同行者の人数（回答者を含む）を尋ねたところ、「2人」（47.6%）の割合が5割弱で最も高く、以下「1人」（20.6%）、「3人」（19.0%）、「4人」（7.9%）などとなっている。



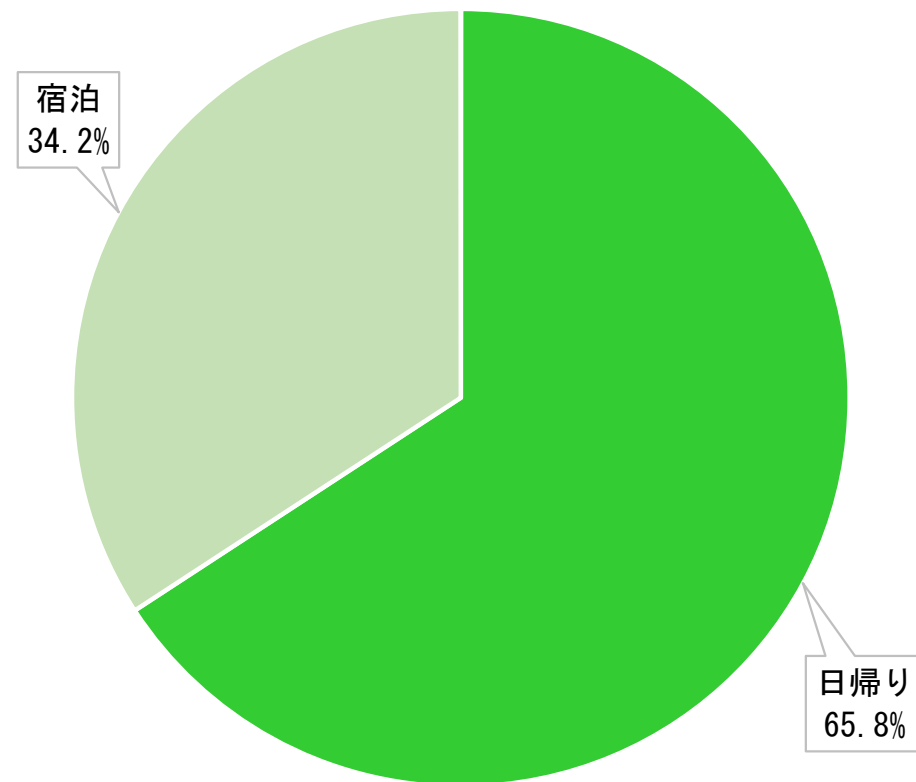
※無回答がある場合、無回答を除く

## 5. 日帰り・宿泊の状況

### (1) 日帰り・宿泊の別

日帰り・宿泊の別を尋ねたところ、「日帰り」(65.8%)の割合が6割台半ば、「宿泊」(34.2%)の割合が3割台半ばとなっている。

(n=193)



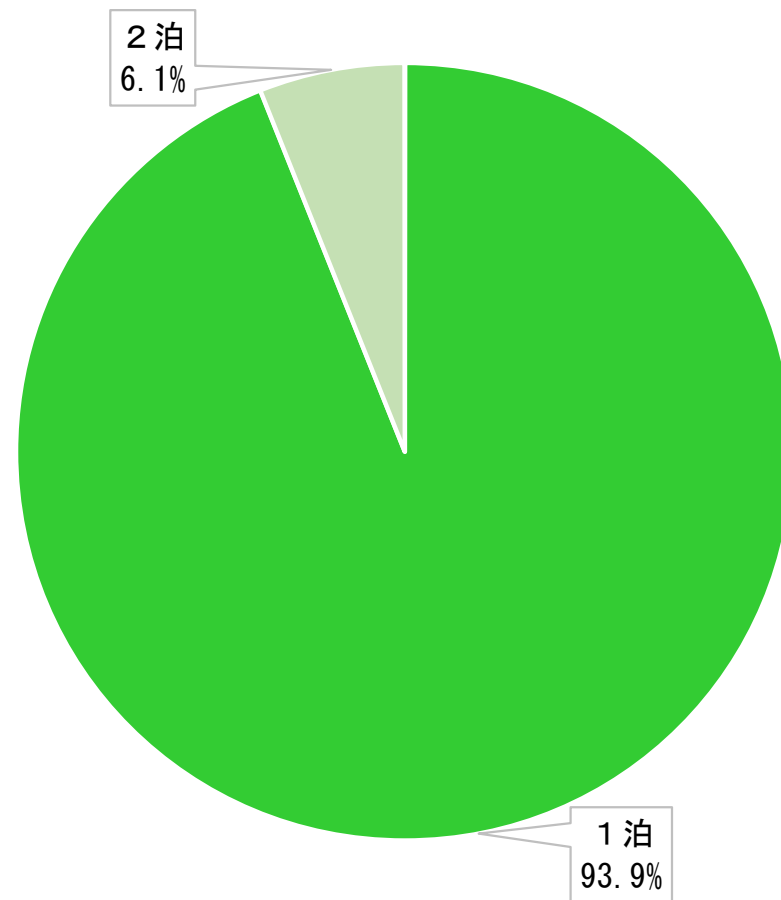
※無回答がある場合、無回答を除く

## 5. 日帰り・宿泊の状況

### (2) 宿泊数

(1) で『宿泊』と回答した人に対し、宿泊数を尋ねたところ、「1泊」(93.9%)の割合が9割超とほとんどで、残りは「2泊」(6.1%)となっている。

(n=66)



※無回答がある場合、無回答を除く

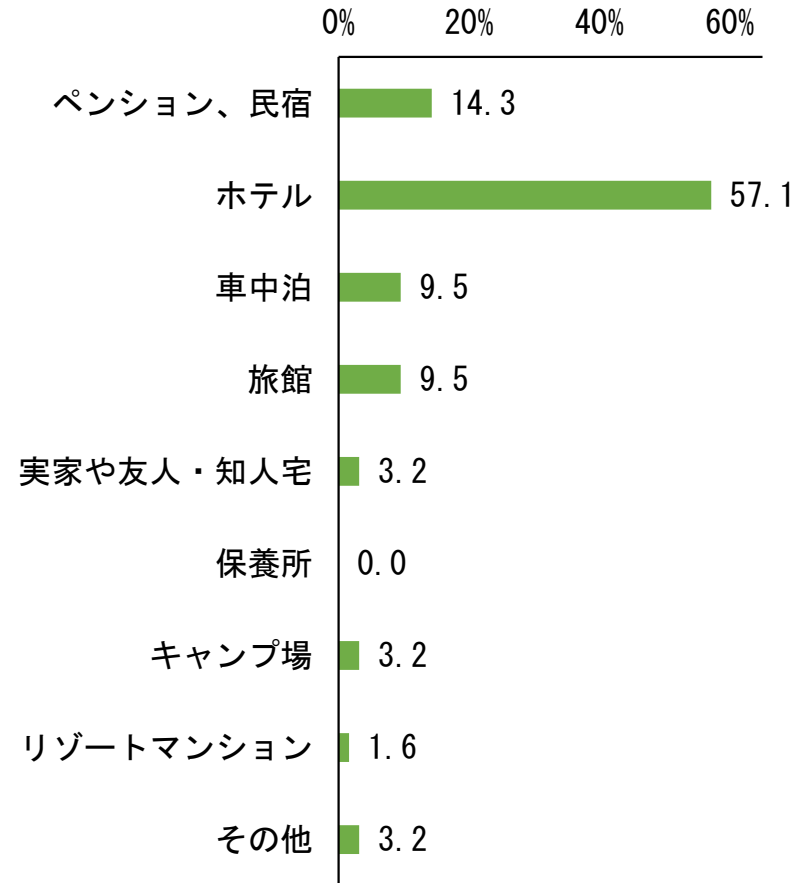


# 5. 日帰り・宿泊の状況

## (3) 宿泊した施設

(1) で『宿泊』と回答した人に対し、宿泊した施設を尋ねたところ（複数回答）、「ホテル」（57.1%）の割合が6割弱で最も高く、以下「ペンション、民宿」（14.3%）、「車中泊」「旅館」（ともに9.5%）などとなっている。

(n=63)



※無回答がある場合、無回答を除く

## 6. 本イベント来訪に要した費用

本イベントに要した旅行費用を尋ねたところ、1人あたりの平均額で『日帰り客』が2,796円、『宿泊客』が14,187円、『日帰り客』と『宿泊客』を合わせた合計（参考）が11,811円となっている。

	日帰り客 (n=114)	宿泊客 (n=63)	合計（参考） (n=177)
交通費	1,365	3,087	1,978
宿泊費	-	7,702	7,702
土産代	589	1,233	818
飲食費	726	2,036	1,192
入場料	22	25	23
その他	93	103	97
合計	2,796	14,187	11,811

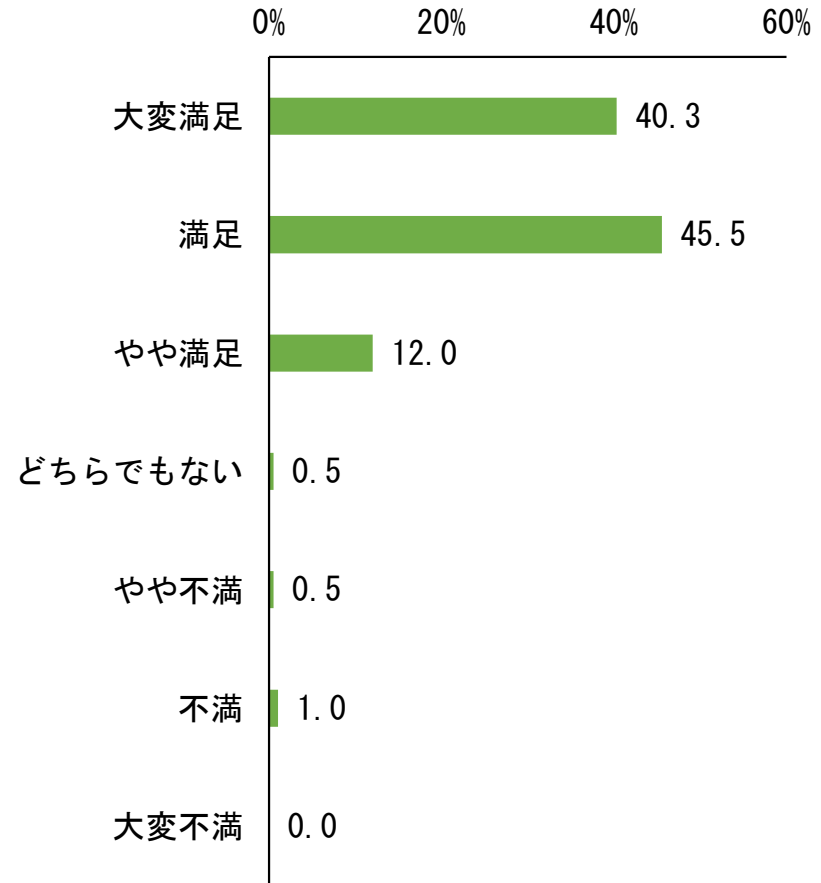
※無回答を除く。合計（参考）の宿泊費は宿泊客の平均である

# 7. 本イベントに対する評価と再来訪意向

## (1) 本イベントに対する評価

本イベントに対する評価を尋ねたところ、「大変満足」(40.3%)と「満足」(45.5%)の割合がそれぞれ4割台となっている。残りは「やや満足」(12.0%)などとなっている。

(n=191)

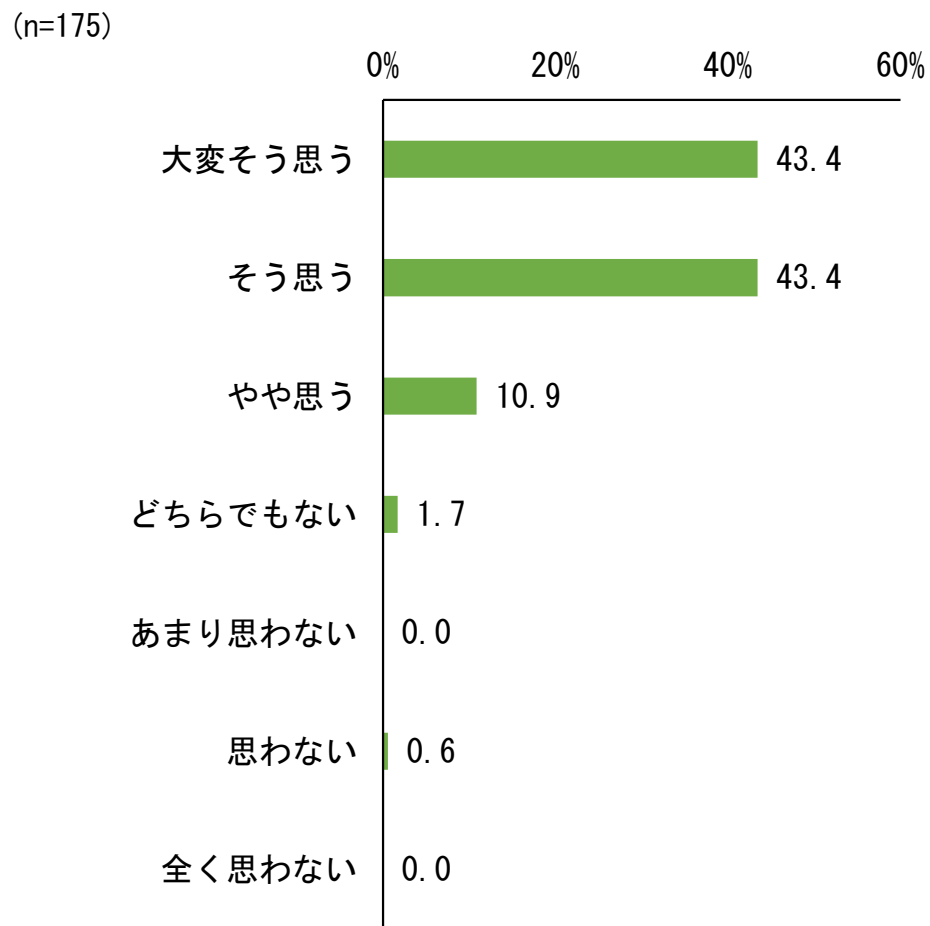


※無回答がある場合、無回答を除く

# 7. 本イベントに対する評価と再来訪意向

## (2) 再来訪意向

本イベントへの再来訪意向を尋ねたところ、「大変そう思う」「そう思う」（ともに43.4%）の割合が約4割となっており、この2つの回答を合わせると8割台半ばを占めている。残りは「やや思う」（1.7%）などとなっている。



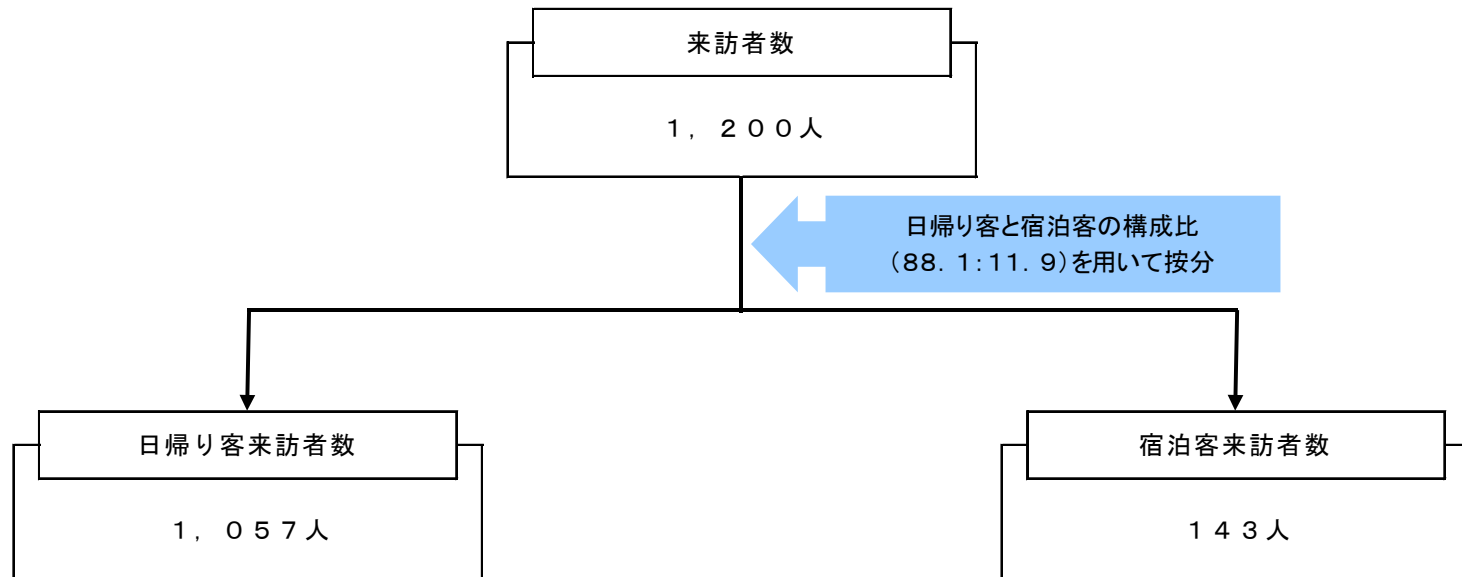
※無回答がある場合、無回答を除く

## 8. 経済波及効果の推計結果

### (1) 消費支出額の推計

#### ① 日帰り客と宿泊客の来訪者数の推計

本イベントの来訪者数は1,200人となっている。この来訪者数を群馬県観光局観光物産課「平成28年 観光客数・消費額調査（推計）結果」で公表されている群馬県内の観光入込客数の『日帰り客』と『宿泊客』の構成比（88.1：11.9）を用いて按分すると、『日帰り客』の来訪者数は1,057人、『宿泊客』の来訪者数は143人と推計される。



## 8. 経済波及効果の推計結果

### ②来訪者 1 人あたりの消費支出額の推計（16頁の再掲）

来訪者 1 人あたりの消費支出には、交通費、宿泊費、土産代等が考えられる。来訪者へのアンケート調査の結果をもとに『日帰り客』『宿泊客』それぞれについて、費目ごとの 1 人あたりの消費支出額を推計する。『日帰り客』『宿泊客』の費目ごとの消費支出額は以下の通りである。

	日帰り客 (n=114)	宿泊客 (n=63)	合計（参考） (n=177)
交通費	1,365	3,087	1,978
宿泊費	-	7,702	7,702
土産代	589	1,233	818
飲食費	726	2,036	1,192
入場料	22	25	23
その他	93	103	97
合計	2,796	14,187	11,811

※無回答を除く。合計（参考）の宿泊費は宿泊客の平均である。（再掲）

## 8. 経済波及効果の推計結果

### ③ 来訪者全体の消費支出額の推計

①で算定した『日帰り客』『宿泊客』それぞれの来訪者数に、②で算定した費目ごとの単価をそれぞれ乗じ、来訪者全体の費目ごとの消費支出額を推計する。『日帰り客』『宿泊客』それぞれの費目ごとの消費支出額は以下の通りで、来訪者全体の消費支出額は4,984千円と推計される。

(単位：千円)

	日帰り客 (1,057人)	宿泊客 (143人)
交通費	1,443	441
宿泊費	-	1,101
土産代	623	176
飲食費	767	291
入場料	23	4
その他	99	15
合計	2,955	2,029
消費支出額	4,984	

# 8. 経済波及効果の推計結果

## (2) 推計モデルを使った経済波及効果の推計

(1)の③で算定された消費支出額を群馬県産業連関表の推計モデルに投入し、最終需要増加額と直接効果、1次・2次間接波及効果を推計し、経済波及効果を推計した。産業ごとの波及効果は以下の通りである。

なお、(1)の③で算定された消費支出額は4,984千円となるが、消費支出額から流通マージン(商業マージン及び国内貨物運賃)と、県外での交通費(交通費の1/2を県外で支出したとみなす)を控除した4,041千円が最終需要増加額となる。また、推計の計算手順は別添の参考資料に掲載している。

(単位：千円)

部門分類	最終需要増加額	生産誘発額				経済波及効果	部門分類	最終需要増加額	生産誘発額				経済波及効果
		直接効果	1次間接波及効果	2次間接波及効果	経済波及効果				直接効果	1次間接波及効果	2次間接波及効果	経済波及効果	
農林水産業	110	28	22	5	55	その他の製造工業製品	79	16	8	4	27		
鉱業	0	0	1	0	1	建設	0	0	29	12	41		
飲食料品	474	61	50	16	127	電力・ガス・熱供給	0	0	66	20	87		
繊維製品	102	1	0	0	2	水道	0	0	27	7	34		
パルプ・紙・木製品	10	2	8	1	11	廃棄物処理	0	0	24	2	26		
化学製品	6	0	2	1	4	商業	0	169	118	78	365		
石油・石炭製品	190	5	4	1	10	金融・保険	0	0	32	47	78		
プラスチック・ゴム	0	0	6	2	7	不動産	0	0	59	190	249		
窯業・土石製品	11	1	1	0	2	運輸・郵便	743	561	129	37	728		
鉄鋼	0	0	0	0	1	情報通信	1	0	39	25	64		
非鉄金属	0	0	0	0	0	公務	0	0	4	2	6		
金属製品	0	0	3	1	3	教育・研究	3	3	5	13	21		
はん用機械	0	0	0	0	1	医療・福祉	15	15	1	36	52		
生産用機械	0	0	1	0	1	その他の非営利団体サービス	1	1	11	9	21		
業務用機械	0	0	1	0	1	対事業所サービス	31	19	156	33	207		
電子部品	0	0	2	1	3	対個人サービス	2,258	1,916	27	93	2,036		
電気機械	4	0	0	1	2	事務用品	0	0	7	1	8		
情報・通信機器	4	0	0	0	0	分類不明	0	0	18	4	21		
輸送機械	0	0	4	10	14	全産業合計	4,041	2,799	864	653	4,316		



## 8. 経済波及効果の推計結果

### (3) 経済波及効果の推計結果

推計の手順としては、はじめに消費支出額から直接効果の推計を行ない、その直接効果に基づいて産業連関表を利用した1次間接波及効果(直接効果によって生じた原材料の他産業への経済波及効果)と2次間接波及効果(直接効果と1次間接波及効果によって生じた雇用者所得が消費に向かうことによる経済波及効果)を算出した。

群馬県産業連関表を利用した推計の結果、本イベントの開催がもたらした群馬県内への経済波及効果は、1次間接波及効果864千円、2次間接波及効果が653千円となり、直接効果2,799千円と合わせた経済波及効果の総額は4,316千円と算定された。

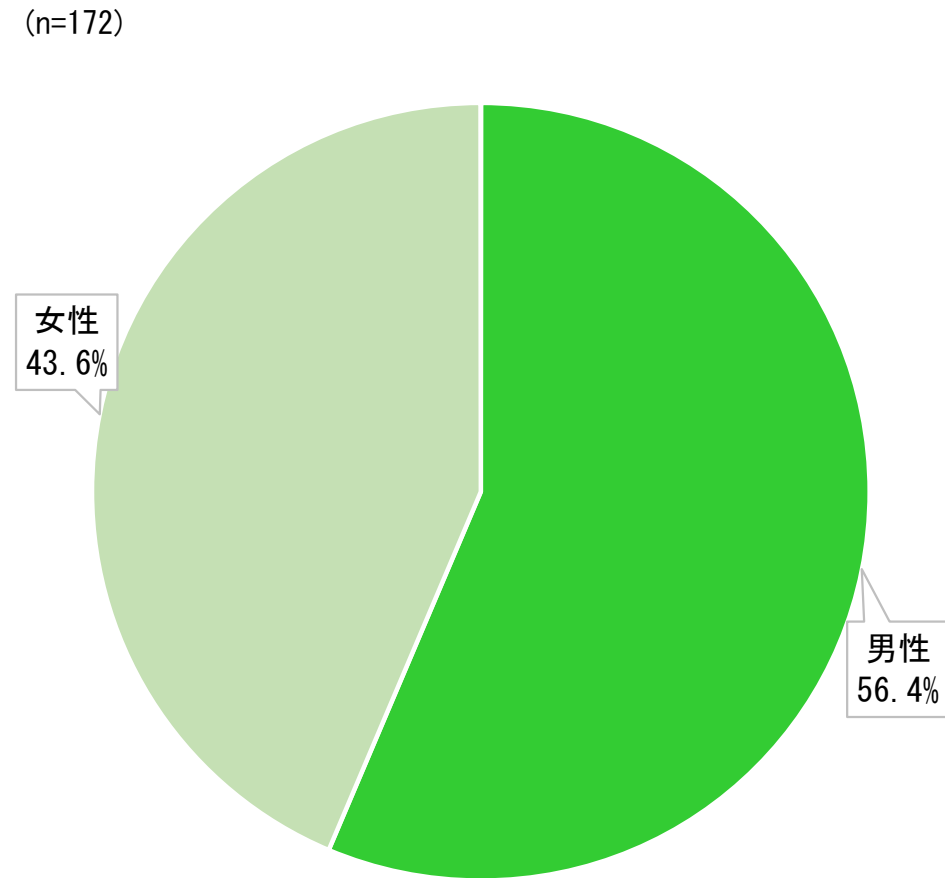
	推計金額
①直接効果	2,799 千円
② 1次間接波及効果	864 千円
③ 2次間接波及効果	653 千円
④経済波及効果 総額 (①+②+③)	4,316 千円
⑤生産誘発倍率 (④÷①)	1.54 倍

## Ⅲ. 矢木沢ダム点検放流

# 1. 回答者の属性

## (1) 性別

回答者を性別で見ると、「男性」(56.4%)が5割台半ば、「女性」(43.6%)が4割台半ばとなっている。



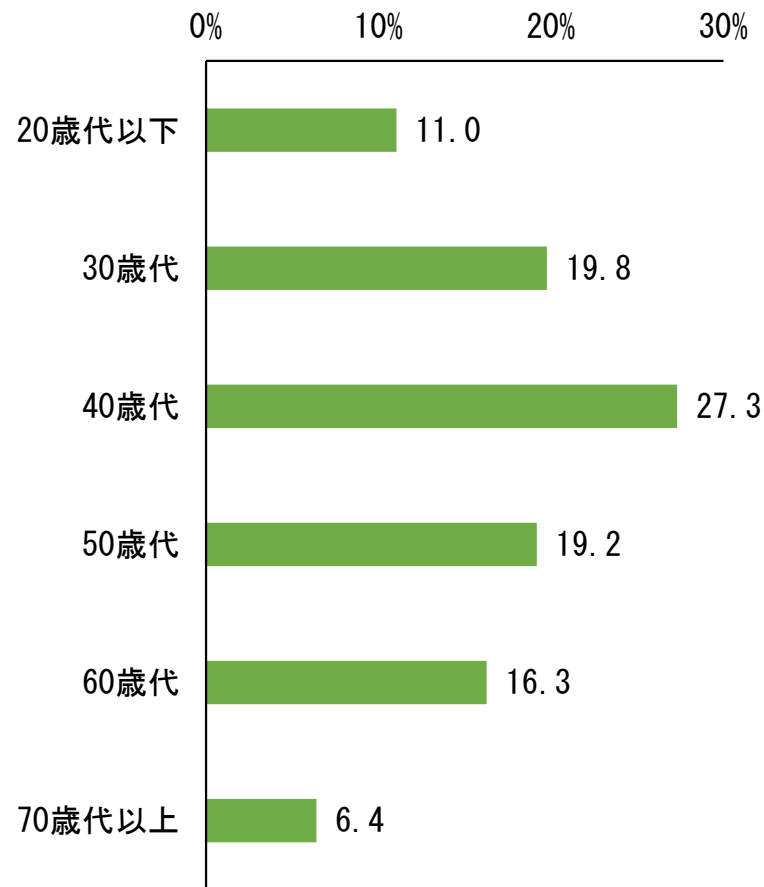
※無回答がある場合、無回答を除く

# 1. 回答者の属性

## (2) 年代別

回答者を年代別で見ると、「40歳代」(27.3%)の割合が3割弱で最も高く、以下「30歳代」(19.8%)、「50歳代」(19.2%)、「60歳代」(16.3%)、「20歳代以下」(11.0%)などとなっている。

(n=172)



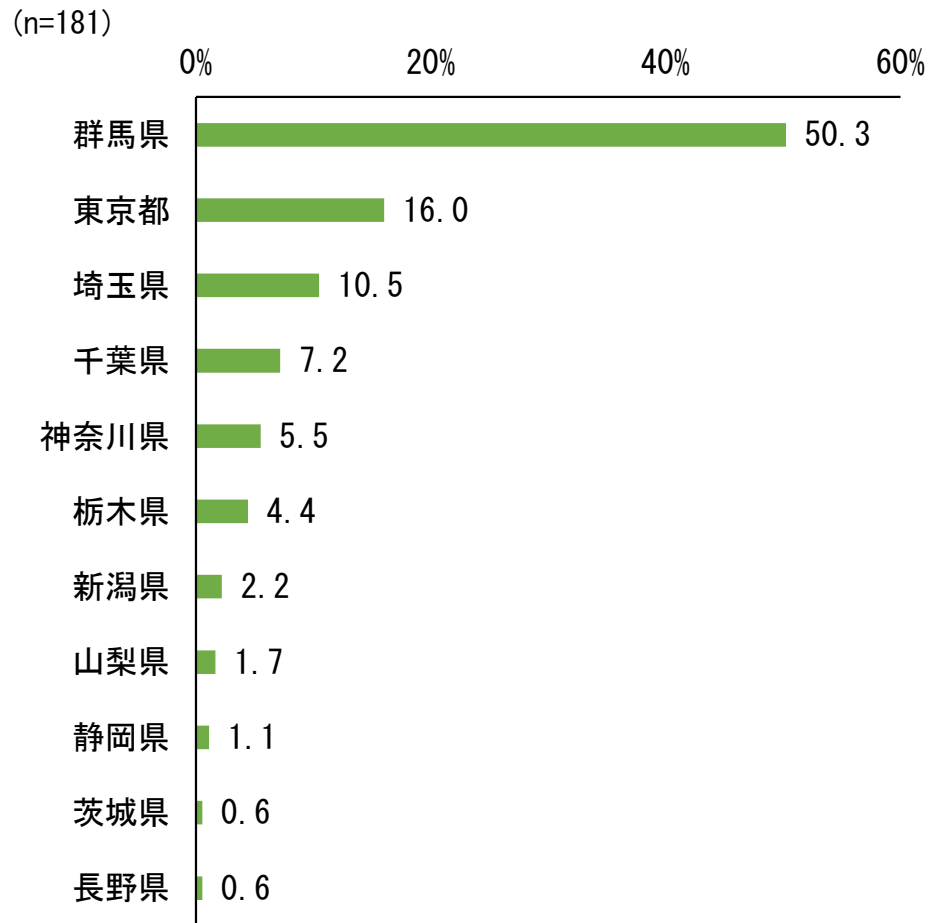
※無回答がある場合、無回答を除く

# 1. 回答者の属性

## (3) 現住所

回答者を現住所別にみると、「群馬県」(50.3%)の割合が約5割で最も高く、以下「東京都」(16.0%)、「埼玉県」(10.5%)、「千葉県」(7.2%)、「神奈川県」(5.5%)、「栃木県」(4.4%)などとなっている。

また、市町村別の状況は次頁のとおりとなっている。



※無回答がある場合、無回答を除く

# 1. 回答者の属性

都道府県	市町村	度数
茨城県	無回答	1
栃木県	那須塩原市	2
	下野市	1
	佐野市	1
	宇都宮市	1
	足利市	1
	無回答	2
	群馬県	吉岡町
みなかみ町		2
みどり市		2
前橋市		19
藤岡市		3
東吾妻郡		1
沼田市		3
富岡市		1
館林市		3
高崎市		20
昭和村		1
渋川市		4
桐生市		1
甘楽町		1
太田市		6
伊勢崎市		9
安中市		1
無回答	10	

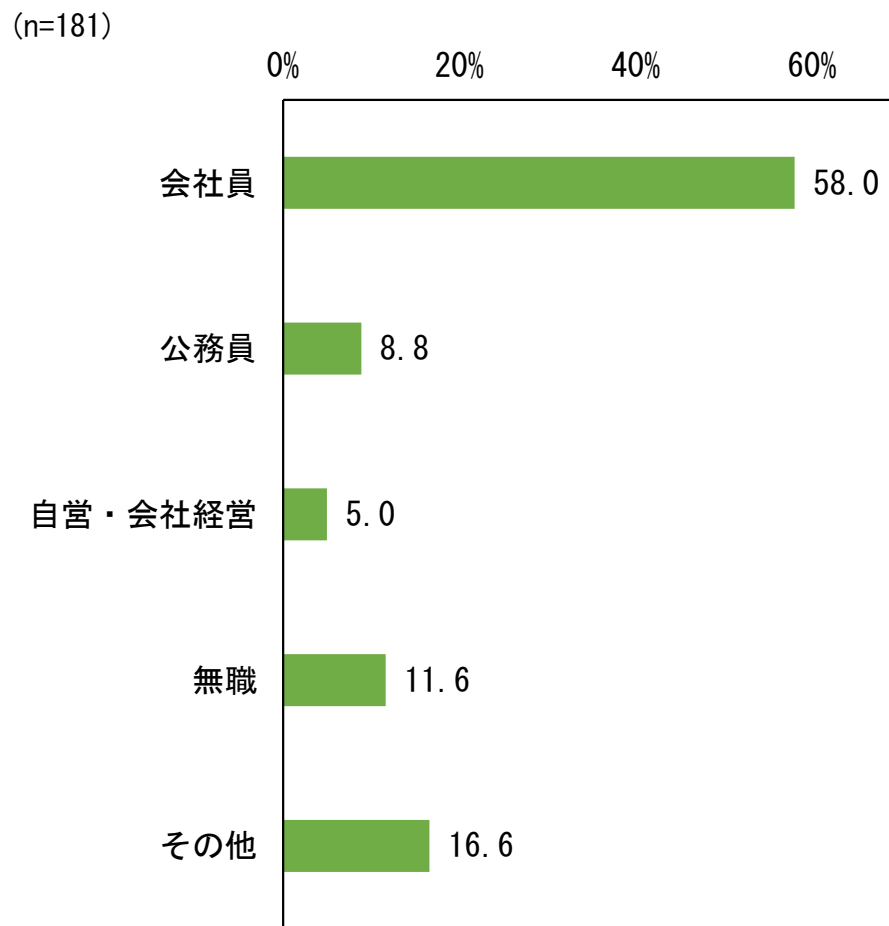
都道府県	市町村	度数
埼玉県	和光市	1
	所沢市	1
	越谷市	1
	行田市	1
	川越市	1
	春日部市	2
	伊奈町	1
	上尾市	1
	無回答	10
	千葉県	流山市
柏市		1
市川市		1
我孫子市		1
無回答		8
東京都		三鷹市
	町田市	1
	府中市	1
	練馬区	2
	江戸川区	1
	足立区	1
	無回答	22
神奈川県	横浜市	4
	藤沢市	1
	茅ヶ崎市	1
	相模原市	2

都道府県	市町村	度数
神奈川県	無回答	2
新潟県	新潟市	2
	無回答	2
山梨県	無回答	3
長野県	無回答	1
静岡県	藤枝市	1
	無回答	1

# 1. 回答者の属性

## (4) 職業

回答者を職業別にみると、「会社員」(58.0%)の割合が約6割で特に高く、以下「その他」(16.6%)、「無職」(11.6%)、「公務員」(8.8%)、「自営・会社経営」(5.0%)となっている。



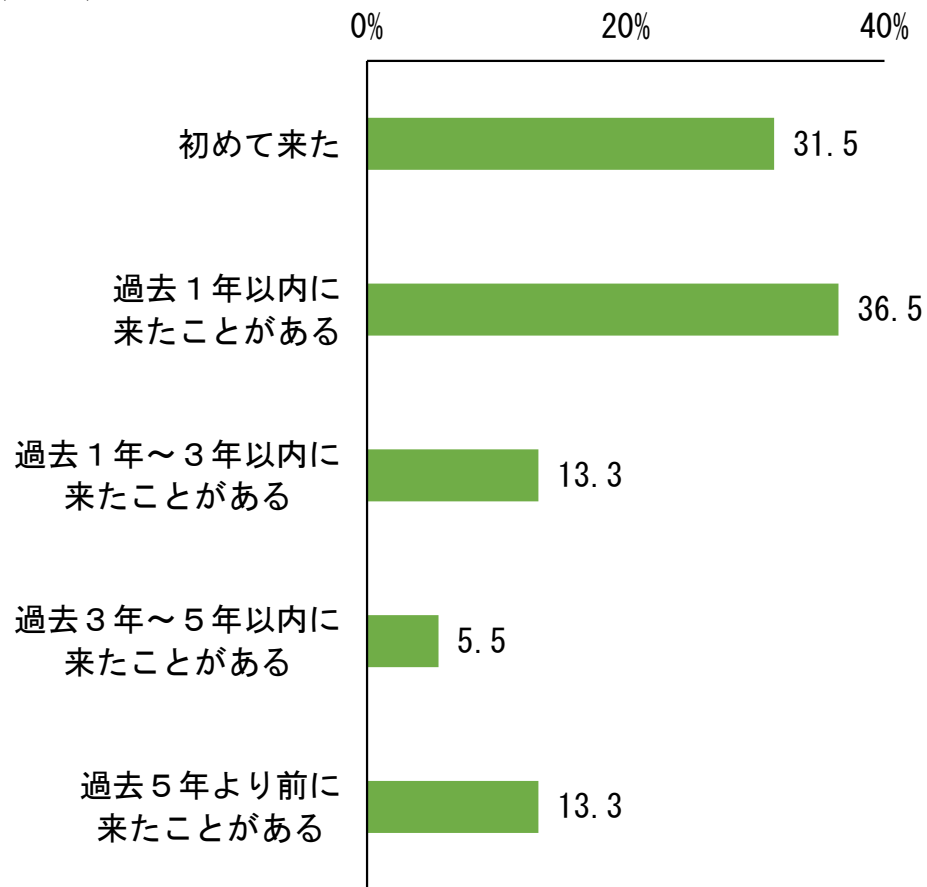
※無回答がある場合、無回答を除く

## 2. みなかみ町への来訪経験

これまでの“みなかみ町”への来訪経験を尋ねたところ、「初めて来た」（31.5%）とする割合が約3割となっている。

一方、「過去1年以内に来たことがある」（36.5%）の割合は3割台半ばとなっており、以下「過去1年～3年以内に来たことがある」「過去5年より前に来たことがある」（ともに13.3%）、「過去3年～5年以内に来たことがある」（5.5%）と続いている。

(n=181)



※無回答がある場合、無回答を除く

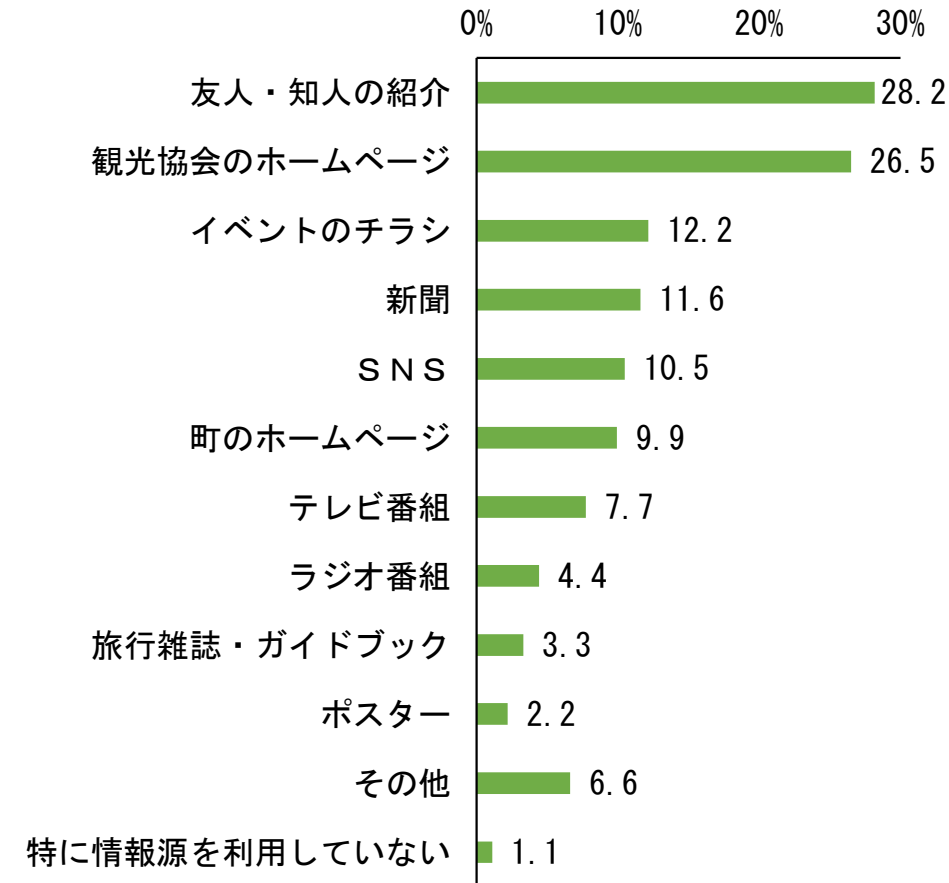


### 3. 本イベントの情報源

本イベントの開催を知るきっかけとなった情報源を尋ねたところ（複数回答）、「友人・知人の紹介」（28.2%）とする割合が約3割で最も高く、次いで「観光協会のホームページ」（26.5%）が高くなっている。

以下「イベントのチラシ・ポスター」（12.2%）、「新聞」（11.6%）、「SNS」（10.5%）、「町のホームページ」（9.9%）などとなっている。

(n=181)

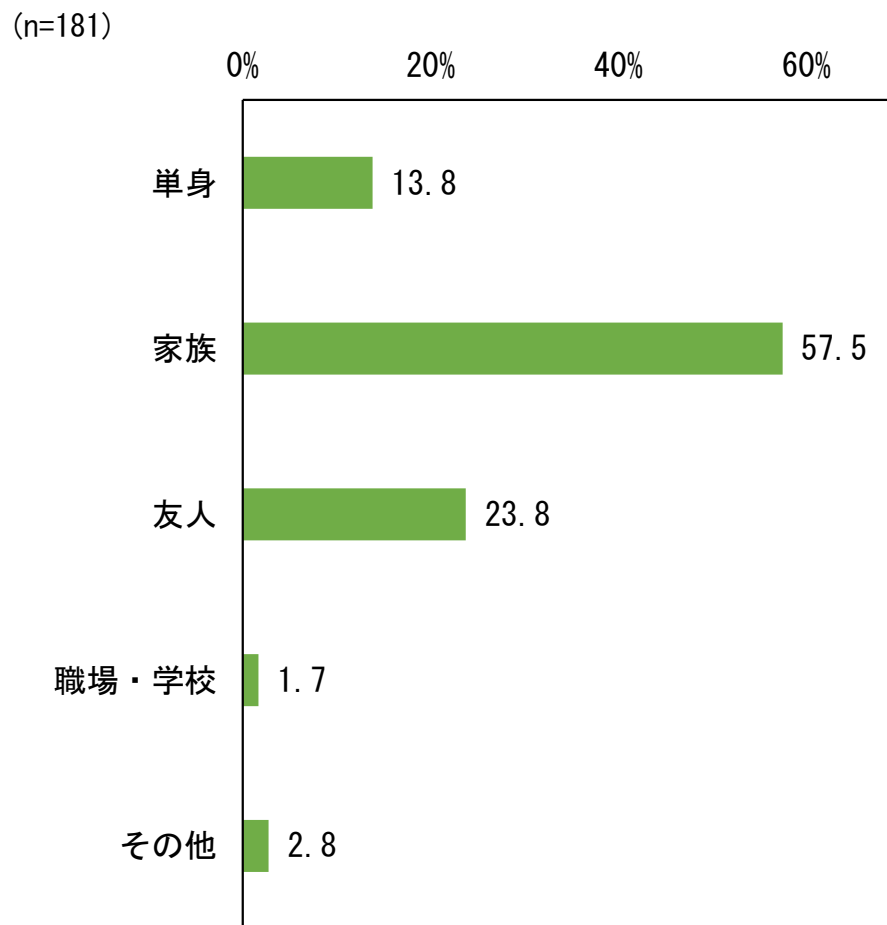


※無回答がある場合、無回答を除く

## 4. 本イベントへの同行者

### (1) 同行者の属性

本イベントへの同行者の属性を尋ねたところ（複数回答）、「家族」（57.5%）の割合が6割弱で特に高く、以下「友人」（23.8%）、「单身」（13.8%）、「その他」（2.8%）などとなっている。

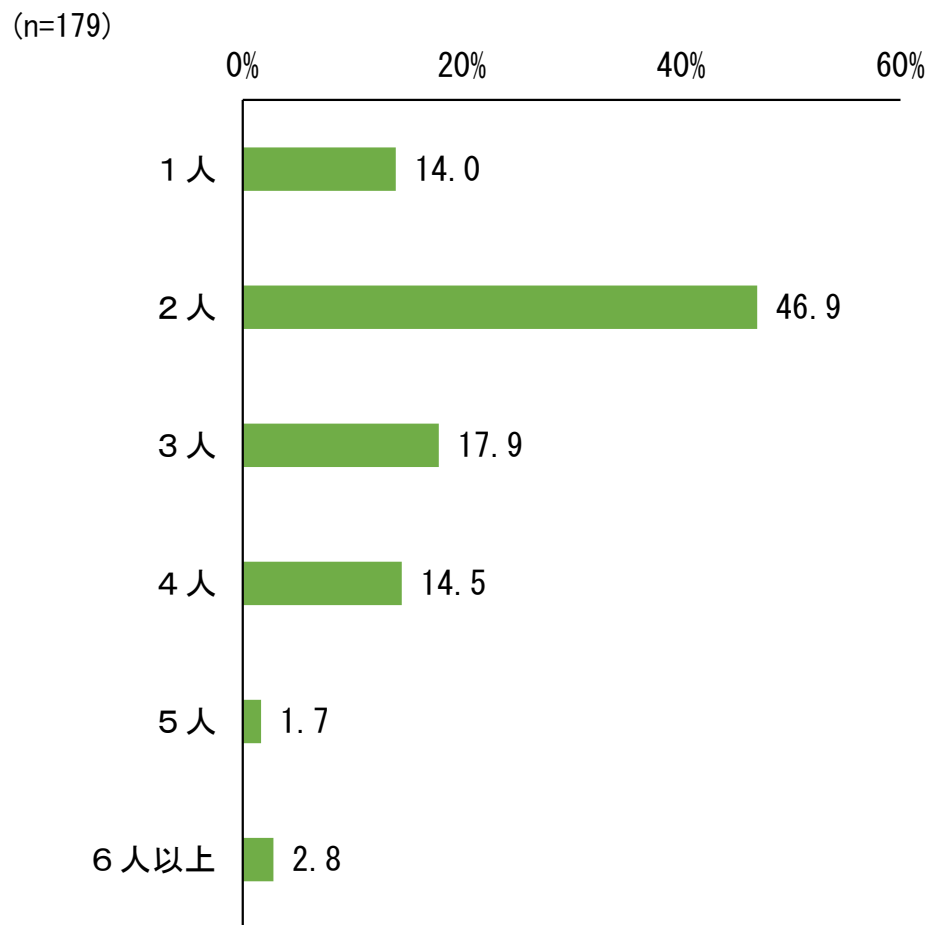


※無回答がある場合、無回答を除く

## 4. 本イベントへの同行者

### (2) 同行者の人数

本イベントへの同行者の人数（回答者を含む）を尋ねたところ、「2人」（46.9%）の割合が4割台半ばで最も高く、以下「3人」（17.9%）、「4人」（14.5%）、「1人」（14.0%）などとなっている。



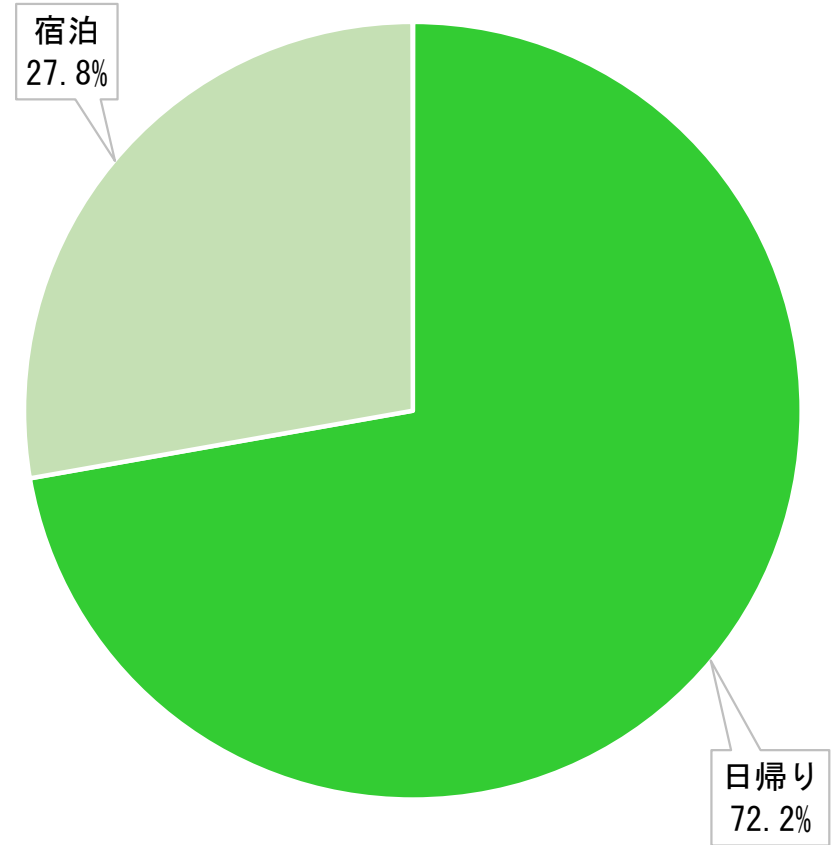
※無回答がある場合、無回答を除く

## 5. 日帰り・宿泊の状況

### (1) 日帰り・宿泊の別

日帰り・宿泊の別を尋ねたところ、「日帰り」(72.2%)の割合が約7割、「宿泊」(27.8%)の割合が3割弱となっている。

(n=180)



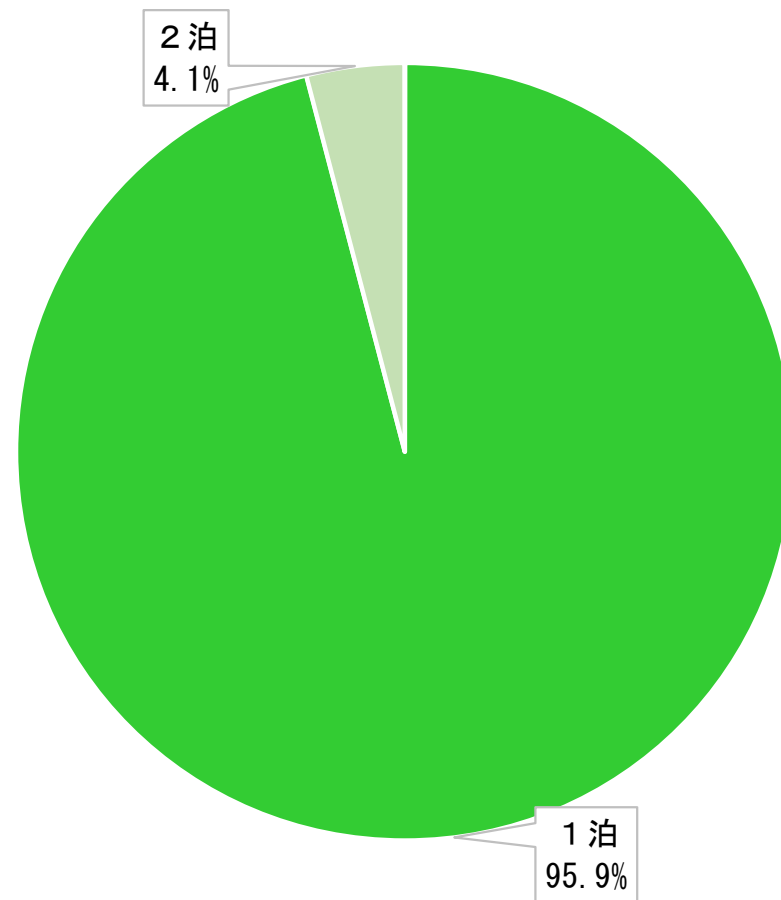
※無回答がある場合、無回答を除く

## 5. 日帰り・宿泊の状況

### (2) 宿泊数

(1) で『宿泊』と回答した人に対し、宿泊数を尋ねたところ、「1泊」(95.9%)の割合が9割超とほとんどで、残りは「2泊」(4.1%)となっている。

(n=49)



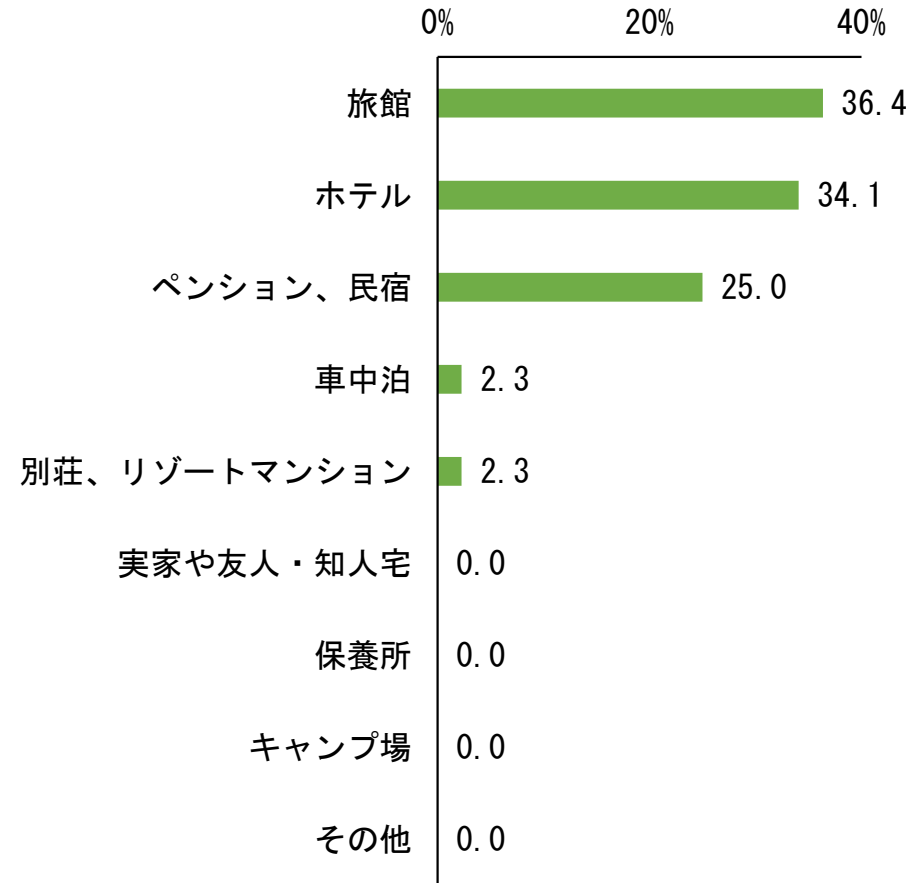
※無回答がある場合、無回答を除く

# 5. 日帰り・宿泊の状況

## (3) 宿泊した施設

(1) で『宿泊』と回答した人に対し、宿泊した施設を尋ねたところ（複数回答）、「旅館」（36.4%）と「ホテル」（34.1%）の割合がともに3割台半ばで高くなっている。以下「ペンション、民宿」（25.0%）、「車中泊」「別荘、リゾートマンション」（ともに2.3%）などとなっている。

(n=44)



※無回答がある場合、無回答を除く

## 6. 本イベント来訪に要した費用

本イベントに要した旅行費用を尋ねたところ、1人あたりの平均額で『日帰り客』が2,629円、『宿泊客』が13,643円、『日帰り客』と『宿泊客』を合わせた合計（参考）が11,599円となっている。

	日帰り客 (n=119)	宿泊客 (n=47)	合計（参考） (n=166)
交通費	1,298	2,692	1,693
宿泊費	-	8,163	8,163
土産代	501	1,023	648
飲食費	631	1,589	902
入場料	131	64	112
その他	68	113	81
合計	2,629	13,643	11,599

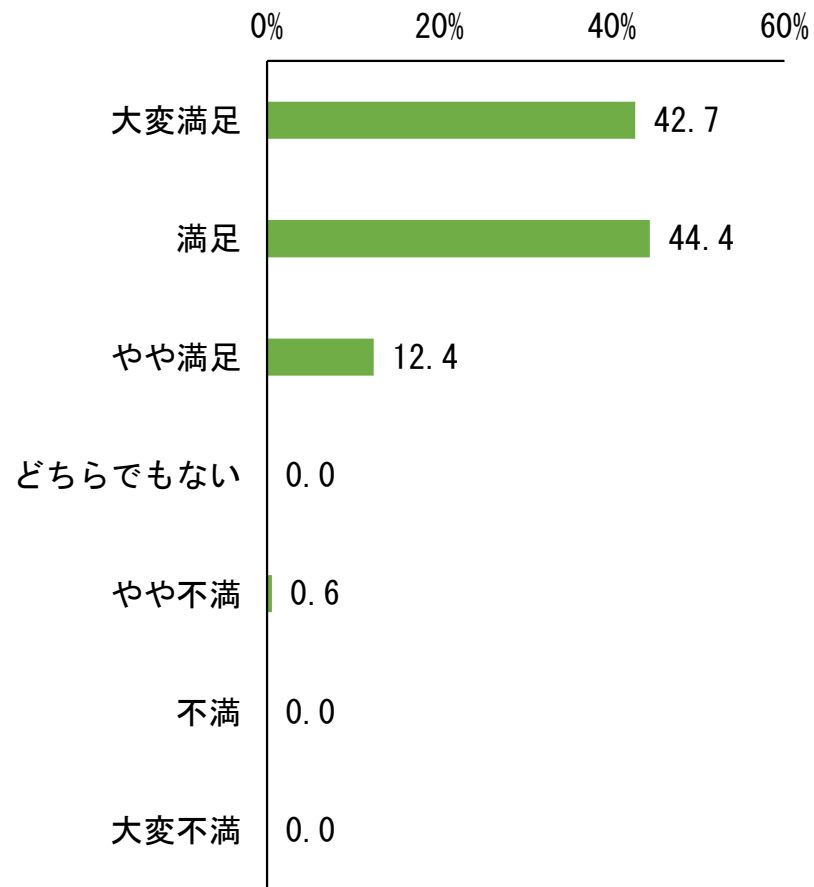
※無回答を除く。合計（参考）の宿泊費は宿泊客の平均である

# 7. 本イベントに対する評価と再来訪意向

## (1) 本イベントに対する評価

本イベントに対する評価を尋ねたところ、「大変満足」(42.7%)と「満足」(44.4%)の割合がそれぞれ4割台となっている。残りは「やや満足」(12.4%)などとなっている。

(n=178)



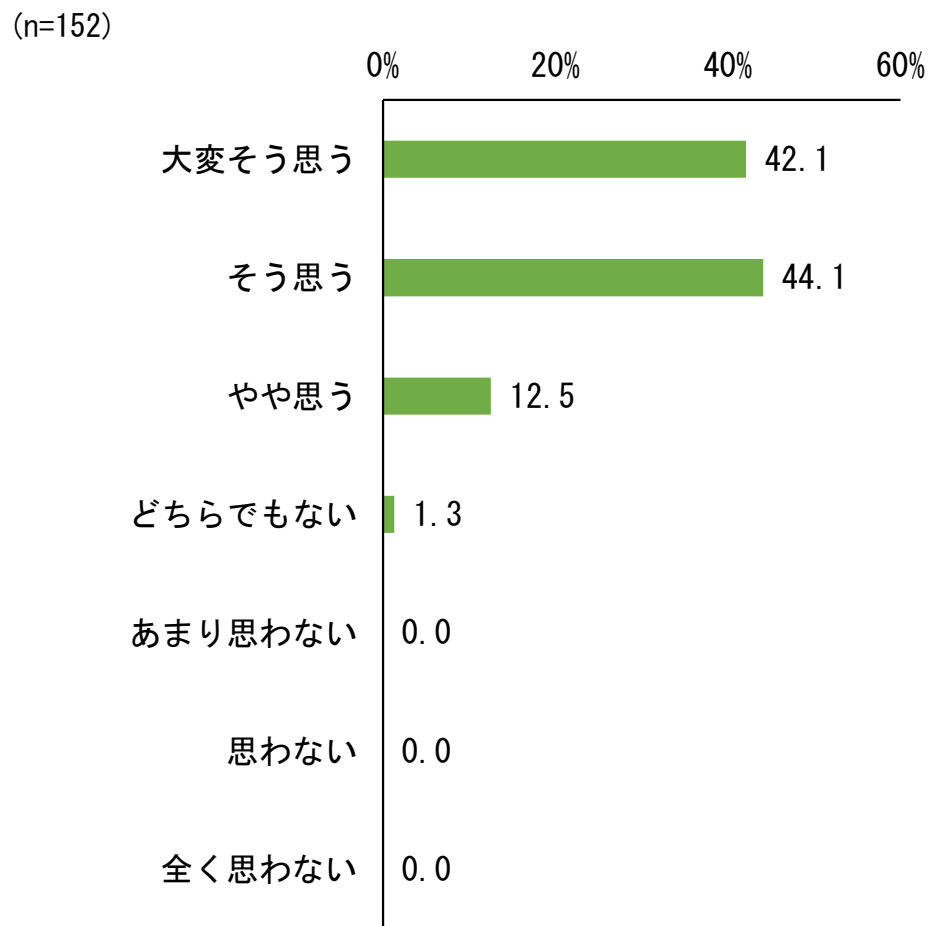
※無回答がある場合、無回答を除く



# 7. 本イベントに対する評価と再来訪意向

## (2) 再来訪意向

本イベントへの再来訪意向を尋ねたところ、「大変そう思う」(42.1%)と「そう思う」(44.1%)の割合がそれぞれ4割台となっており、この2つの回答を合わせると8割台半ばを占めている。残りは「やや思う」(12.5%)となっている。



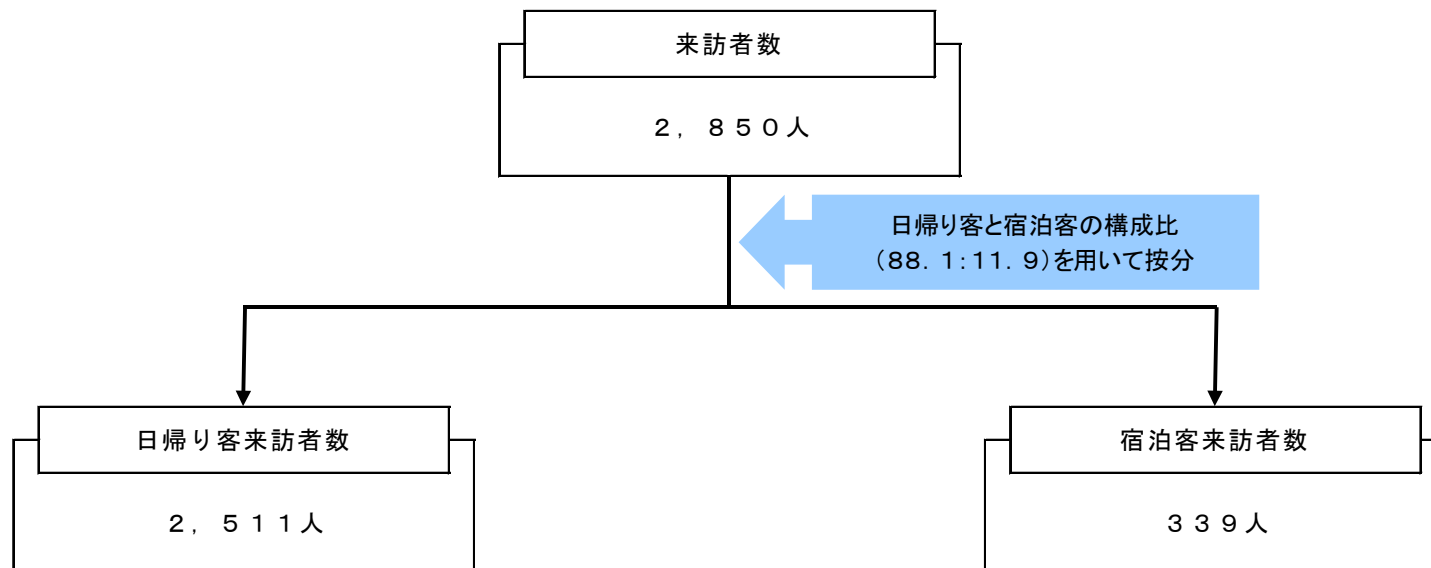
※無回答がある場合、無回答を除く

## 8. 経済波及効果の推計結果

### (1) 消費支出額の推計

#### ① 日帰り客と宿泊客の来訪者数の推計

本イベントの来訪者数は2,850人となっている。この来訪者数を群馬県観光局観光物産課「平成28年 観光客数・消費額調査（推計）結果」で公表されている群馬県内の観光入込客数の『日帰り客』と『宿泊客』の構成比（88.1：11.9）を用いて按分すると、『日帰り客』の来訪者数は2,511人、『宿泊客』の来訪者数は339人と推計される。



## 8. 経済波及効果の推計結果

### ②来訪者 1 人あたりの消費支出額の推計（36頁の再掲）

来訪者 1 人あたりの消費支出には、交通費、宿泊費、土産代等が考えられる。来訪者へのアンケート調査の結果をもとに『日帰り客』『宿泊客』それぞれについて、費目ごとの 1 人あたりの消費支出額を推計する。『日帰り客』『宿泊客』の費目ごとの消費支出額は以下の通りである。

	日帰り客 (n=119)	宿泊客 (n=47)	合計（参考） (n=166)
交通費	1,298	2,692	1,693
宿泊費	-	8,163	8,163
土産代	501	1,023	648
飲食費	631	1,589	902
入場料	131	64	112
その他	68	113	81
合計	2,629	13,643	11,599

※無回答を除く。合計（参考）の宿泊費は宿泊客の平均である。（再掲）

## 8. 経済波及効果の推計結果

### ③ 来訪者全体の消費支出額の推計

①で算定した『日帰り客』『宿泊客』それぞれの来訪者数に、②で算定した費目ごとの単価をそれぞれ乗じ、来訪者全体の費目ごとの消費支出額を推計する。『日帰り客』『宿泊客』それぞれの費目ごとの消費支出額は以下の通りで、来訪者全体の消費支出額は11,226千円と推計される。

(単位：千円)

	日帰り客 (2,511人)	宿泊客 (339人)
交通費	3,260	913
宿泊費	-	2,767
土産代	1,257	347
飲食費	1,584	539
入場料	329	22
その他	171	38
合計	6,601	4,625
消費支出額	11,226	

# 8. 経済波及効果の推計結果

## (2) 推計モデルを使った経済波及効果の推計

(1)の③で算定された消費支出額を群馬県産業連関表の推計モデルに投入し、最終需要増加額と直接効果、1次・2次間接波及効果を推計し、経済波及効果を推計した。産業ごとの波及効果は以下の通りである。

なお、(1)の③で算定された消費支出額は11,226千円となるが、消費支出額から流通マージン(商業マージン及び国内貨物運賃)と、県外での交通費(交通費の1/2を県外で支出したとみなす)を控除した9,140千円が最終需要増加額となる。また、推計の計算手順は参考資料に掲載している。

(単位：千円)

部門分類	最終需要増加額	生産誘発額				経済波及効果	部門分類	最終需要増加額	生産誘発額				経済波及効果
		直接効果	1次間接波及効果	2次間接波及効果					直接効果	1次間接波及効果	2次間接波及効果		
農林水産業	227	58	51	11	119	その他の製造工業製品	158	32	18	8	58		
鉱業	0	0	2	1	3	建設	0	0	67	27	95		
飲食料品	951	123	116	36	276	電力・ガス・熱供給	0	0	153	47	201		
繊維製品	204	2	1	1	3	水道	0	0	62	16	78		
パルプ・紙・木製品	20	3	18	3	24	廃棄物処理	0	0	56	5	61		
化学製品	13	1	5	3	9	商業	0	345	272	180	797		
石油・石炭製品	425	12	10	2	23	金融・保険	0	0	72	108	179		
プラスチック・ゴム	0	0	13	4	17	不動産	0	0	135	439	574		
窯業・土石製品	22	2	2	0	4	運輸・郵便	1,653	1,244	295	86	1,625		
鉄鋼	0	0	1	0	1	情報通信	1	1	89	57	147		
非鉄金属	0	0	1	0	1	公務	0	0	9	5	14		
金属製品	0	0	6	2	8	教育・研究	43	34	11	31	75		
はん用機械	0	0	1	0	1	医療・福祉	29	29	3	83	115		
生産用機械	0	0	1	0	2	その他の非営利団体サービス	6	6	25	22	53		
業務用機械	0	0	1	0	2	対事業所サービス	64	39	354	75	468		
電子部品	0	0	5	2	6	対個人サービス	5,310	4,506	62	213	4,781		
電気機械	7	1	1	3	5	事務用品	0	0	16	3	18		
情報・通信機器	8	0	0	0	0	分類不明	0	0	40	9	49		
輸送機械	0	0	10	22	32	全産業合計	9,140	6,436	1,984	1,505	9,925		

## 8. 経済波及効果の推計結果

### (3) 経済波及効果の推計結果

推計の手順としては、はじめに消費支出額から直接効果の推計を行ない、その直接効果に基づいて産業連関表を利用した1次間接波及効果(直接効果によって生じた原材料の他産業への経済波及効果)と2次間接波及効果(直接効果と1次間接波及効果によって生じた雇用者所得が消費に向かうことによる経済波及効果)を算出した。

群馬県産業連関表を利用した推計の結果、本イベントの開催がもたらした群馬県内への経済波及効果は、1次間接波及効果1,984千円、2次間接波及効果が1,505千円となり、直接効果6,436千円と合わせた経済波及効果の総額は9,925千円と算定された。

	推計金額
①直接効果	6,436 千円
② 1次間接波及効果	1,984 千円
③ 2次間接波及効果	1,505 千円
④経済波及効果 総額 (①+②+③)	9,925 千円
⑤生産誘発倍率 (④÷①)	1.54 倍

## IV. II～IIIのイベントの主な指標一覧

## ● II～IIIのイベントの主な指標一覧

イベント名	来訪者数	アンケート サンプル数	満足度（大変 満足+満足）	日帰り客 1人あたり 消費額	宿泊客 1人あたり 消費額	経済波及 効果総額
奈良俣・藤原ダム点検放流	1,200人	193人	85.8%	2,796円	14,187円	4,316千円
2018年度 矢木沢ダム点検放流	2,850人	181人	87.1%	2,629円	13,643円	9,925千円
【参考】 2017年度 矢木沢ダム点検放流	2,050人	80人	96.2%	3,076円	14,044円	7,595千円



**みなかみ町観光協会様**

**『町内イベントにおけるアンケート調査  
並びに経済波及効果推計結果』**

**報 告 書**

**平成30年6月**